

畅销系列 读解全新问世！

8大主题 150篇阅读文 600道习题
深度解析应试技巧 精准把握命题思路
加赠全部译文 + 解析

橙宝书

新日本语能力考试

N2 读解

(详解+练习)

主 编○许小明 Reika
编 著○新世界图书事业部



畅销系列 读解全新问世！

8大主题 150篇阅读文 600道习题
深度解析应试技巧 精准把握命题思路
加赠全部译文 + 解析

橙宝书

新日本语能力考试

N2 读解

(详解+练习)

主编○许小明 Reika
编著○新世界图书事业部



华东理工大学出版社

EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

橙宝书·新日本语能力考试N2读解:详解+练习/许小明,
Reika主编;新世界图书事业部编著.一上海:华东理工大学出
版社, 2018.8

(新世界系列丛书)

ISBN 978-7-5628-5528-6

I .①橙… II .①许…②R…③新… III .①日语—水平考试—
自学参考资料 IV . H360.41

中国版本图书馆CIP数据核字(2018)第155235号

项目统筹 / 王一佼

责任编辑 / 朴美玲

装帧设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路130号, 200237

电话: 021-64250306

网址: www.ecustpress.cn

邮箱: zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 上海盛通时代印刷有限公司

开 本 / 787mm×1092mm 1/16

印 张 / 17.5

字 数 / 429千字

版 次 / 2018年8月第1版

印 次 / 2018年8月第1次

定 价 / 46.80元

编委会名单

主编：许小明 Reika

编著：新世界图书事业部

张洪飞 钟 雁 刘学敏

前　　言

新世界图书事业部自2011年3月推出《红宝书·新日本语能力考试文字词汇(详解+练习)》系列和《蓝宝书·新日本语能力考试文法(详解+练习)》系列丛书以来,广受好评,成为很多日语学习者的必备用书。在此基础上,我们潜心研究数年,终于推出《橙宝书·新日本语能力考试读解(详解+练习)》这一全新系列丛书。这一系列丛书的出版,将有助于广大日语学习者能更好地掌握读解技巧,提高读解能力。

【本书内容与特点】

本书内容

- 全书共分为“基礎編”“攻略編”“実践編”三大部分,从基础到实战,步步为营,帮助学习者系统、全面地掌握知识,攻破各个难题。
- 1. 基礎編:按新日本语能力考试中文章涵盖的主题分为8个单元,每单元由「読む前に」(学习词汇与表达方式)、「読んでみよう」(练习)、「読んだあとで」(理解概要与解析)3大步骤构成。8大知识点的讲解帮助学习者系统地学习读解的核心知识,并罗列了重要的句型与接续词。
- 2. 攻略編:按真题题型分为6个单元,通过具有针对性的解题技巧、大量的日语文章和高质量的练习,帮助学习者熟悉出题形式,掌握做题攻略。
- 3. 実践編:本书包含2回全真模拟试题,以高仿真度、高质量的题目为学习者带来真实的考试体验。

本书特点

- 优质文章,海量练习:全书共150篇文章、600道题,文章原汁原味,练习全面多样。文章由易到难,适合不同学习阶段的学习者。
- 知识系统,语法全面:我们总结了日语文章的结构与特点,帮助学习者系统、扎实地巩固基础知识,让学习者在做读解题的过程中有理可循、有据可依。
- 应考技巧,事半功倍:我们对历年真题进行了反复、深入的研究,认为每种题型都有相对应的解题技巧,希望通过细心详尽的指导帮助学习者各个攻破。
- 精讲精练,无师自通:本书通过高质量的练习还原考试题型,解析详细,并配有全文翻译,让学习者即使自学也能透彻地理解文章、做对题目。
- 贴近真题,把握趋势:我们以历年真题为依据、以独创研究为手段、以对未来趋势的研究为核心,将最新的研究成果凝缩在本书的2回模拟练习中。

本系列丛书注重学习者读与练的体验,力求在此过程中帮助学习者掌握相关知识。希望通过本系列丛书的学习,学习者可以轻松地读懂文章,在考试的时候做到胸有成竹。

2018年6月
新世界日语 许小明

目 次

Part 1 基礎編

Unit 1 人生・生き方	2
読み物1	2
書き言葉の特徴（1）（书面語的特徴）	5
文の構造——文節の相互関係	7
読み物2～5	8
Unit 2 自然・環境・生物と人間	16
読み物6	16
書き言葉の特徴（2）	19
段落内の構造——中心文と支持文	21
読み物7～10	22
Unit 3 若者と教育	30
読み物11	30
文の構造1 段落の話題とメインアイデア	33
表 現1 定義・説明を表す文型と接続詞	34
読み物12～15	36
Unit 4 コミュニケーション・異文化理解	44
読み物16	44
文の構造2 話題の転換と対比	47
表 現2 逆接・比較・対立を表す文型と接続詞	48
読み物17～20	51
Unit 5 心理・健康	59
読み物21	59
文の構造3 話題の推進と展開	62
表 現3 添加・並列を表す文型と接続詞	63
読み物22～25	65
Unit 6 会社・職場	74
読み物26	74

文の構造4 帰納と演繹	77
表 現4 言い換え・順接・列挙を表す文型と接続詞	78
読み物27～30	81
Unit 7 情報社会・日常生活	89
読み物31	89
文の構造5 筆者の主張——文末表現を中心に	92
表 現5 因果関係・主張を表す文型と接続詞	93
読み物32～35	95
Unit 8 文学芸術・科学技術	104
読み物36	104
文の構造6 長文の構成——起承転結	107
表 現6 複文の仕組み	108
読み物37～40	110
Part 2 攻略編	
Unit 1 試験によく出る問題	120
試験対策	120
例題解説（読み物41）	122
実践練習（読み物42～44）	124
Unit 2 短文読解	129
試験対策	129
例題解説（読み物45～49）	131
実践練習（読み物50～69）	137
Unit 3 中文読解	151
試験対策	151
例題解説（読み物70～72）	153
実践練習（読み物73～84）	160
Unit 4 総合理解	174
試験対策	174
例題解説（読み物85～88）	175
実践練習（読み物89～104）	179

Unit 5 長文読解	188
試験対策	188
例題解説（読み物105～106）	189
実践練習（読み物107～114）	195

Unit 6 情報検索	211
試験対策	211
例題解説（読み物115～116）	212
実践練習（読み物117～126）	218

Part 3 実践編

第1回N2読解模擬テスト（読み物127～138）	240
第2回N2読解模擬テスト（読み物139～150）	252

付録	264
Part 2 正解	264
Part 3 正解	267

Part 1 基礎編

8分野、40の素材で基礎を固め、
確かな実力を身に付けましょう！

通过对8大领域、40篇题材的学习，
巩固基础，切实提高实力！



Unit 1 人生・生き方



読み物 1

読む前に

■ 読むための語彙 ■

□ 奇妙 (きみょう) 奇妙的, 不可思议的	□ 言い聞かせる (いいきかせる) 劝告, 劝说
□ すこんと 形容物体掉落、脱落	□ いつまでも 永远, 始终
□ 鮮明 (せんめい) 鲜明, 清晰	□ 悲しみ (かなしみ) 悲伤, 哀痛
□ 打ちひしぐ (うちひしぐ) 打垮, 摧毁	□ いずれ 迟早会; 哪个
□ 定番フレーズ (ていばん) 固定词句, 套话	□ 気分転換 (きぶんてんかん) 转换心情
□ 一時的 (いちじてき) 暂时的, 临时的	□ そのもの 本身
□ あるいは 或者	□ 多少 (たしょう) 多少; 稍微
□ チャレンジする 挑战	□ 付き物 (つきもの) 附属品, 附带事物
□ 悔やむ (くやむ) 懊悔, 后悔	□ 追及する (ついきゅう) 追究
□ 笑い話 (わらいばなし) 笑话	□ 思い出 (おもいで) 回忆
□ ないしは 或者; 至	□ 美談 (びだん) 趣谈, 佳话

■ 読むための表現 ■

- ~というのは~だ/所谓的……是指……
- ~こともあれば~こともある/既有……的时候, 也有……的时候
- 記憶が抜ける/丧失记忆
- ~によって/通过……
- 記憶力 (きおくりょく) を高める/提高记忆力
- ~に向かって=~に対して/对……
- 仕方がない/没办法
- ~たところで=~ても/即使……也……
- ~わけではない/并不是……
- ~ (よ) うと努力する/努力想要……
- ~方がいいのではないだろうか/难道不是……比较好吗
- ~代わりに/虽然……但是……。表示事物相反的两面。
- ~のは~ではなく、~ことだ/……不是……, 而是……
- そこまでいけば/如果到那个程度的话, 如果到那个地步的话
- ~となる/成为……。强调变化的结果。

読んでみよう

¹ 記憶というのは奇妙なものだ。² 「覚えておかなければ」と自分に言い聞かせていました記憶がすこんと抜けてしまうこともあれば、「こんなことは早く忘れたい」と思っている記憶がいつまでも鮮明に残っていることもある。³ 努力によって記憶力を高めるのは難しいが、忘れる努力はさらに難しい。⁴ 悲しみに打ちひしがれている人に向かって、「いずれ時間が解決してくれるから」、「起きてしまったことは仕がないから忘れるようにしなさい」と言ったところで、簡単に忘れられるわけではない。⁵ 「あんたなんかに私の気持ちがわかるか」という定番フレーズが聞こえてきそうだ。⁶ 気分転換によって、いやなことを一時的に忘れるることはできたとしても、記憶そのものは消えない。⁷ つらい記憶や悲しい記憶、あるいは失敗の記憶は無理に忘れようと努力しない方がいいのではないだろうか。⁸ しかし、人間、誰でも多少の失敗はする。⁹ 特に、新しいことにチャレンジする場合、失敗はつきものだ。¹⁰ 失敗を恐れて新しいことをやらないと、失敗しない代わりに進歩も生まれない。¹¹大切なのは、失敗を悔やんだり、忘れたりするではなく、失敗の原因を「なぜ」と追及し、「次にどうすればうまくいくか」を考えることだ。¹² そこまでいけば失敗はただの失敗ではなく、成功の母となる。¹³ そして、次にうまくいけば、失敗もただの笑い話、懐かしい思い出、ないしは美談となる。

文の内容に合っているものに○、違っているものに×をつけてください。

1. () 覚えなくてもいいものはすぐに忘れられる。
2. () 忘れることは努力によって記憶力を高めることより難しい。
3. () 気分転換によっていやなことを完全に忘れることができる。
4. () つらい記憶は無理に忘れようとしなくとも、いつかきっと忘れられる。
5. () 記憶というのは人間の望むとおりにならない場合がよくある。
6. この文章で筆者が最も言いたいことは何か。
 - a 人は楽しいことはずっと覚えているが、つらいことはすぐに忘れる。
 - b 失敗した経験を覚えておかなければ次の成功につながる道は開かない。
 - c 失敗を忘れるのではなく、その原因を究明し、次に生かすことが必要だ。
 - d どんな記憶であっても、時間が経つにつれて自然に忘れることができる。

読んだ後で

答 案: 1. × 2. ○ 3. × 4. × 5. ○ 6. c

文章概要:

记忆是很奇妙的，反复跟自己讲一定要记住的东西，就是记不住。拼命想去忘记的事情，却鲜明地留在脑海里。通过努力去提高记忆力是很困难的，想通过努力去忘记更困难。劝慰处于悲伤中的人，让其努力忘记伤痛，其实也是很难做到的。即便转换一下心情，暂时忘记了不好的事情，但记忆本身是不会消失的。其实没有必要勉强自己去忘记。无论是谁，只要挑战过，就必然会有失败，重要的是找到“失败”的原因，想好以后怎样才能做好。如果不这样去做的话，失败永远都只是失败，无法给自己带来成功。但是总结失败的经验，从中吸取教训获得成功之后，失败也能成为值得怀念的回忆和趣谈。

难句分析:

- 「覚えておかなければ」と自分に言い聞かせていた記憶がすこんと抜けてしまうこともあれば、「こんなことは早く忘れない」と思っている記憶がいつまでも鮮明に残っていることもある。
→ 句子的主干是「…ことともあれば、…こともある/既有……事情，也有……事情」。
「『覚えておかなければ』と…抜けてしまう」「『こんなことは早く忘れない』…鮮明に残っている」都是「こと」的修飾语。
- 大切なのは、失敗を悔やんだり、忘れたりするのではなく、失敗の原因を「なぜ」と追求し、「次にどうすればうまくいくか」を考えることだ。
→ 句子的主干是「大切なのは…のではなく、…ことだ/重要的不是……，而是……」。
句子的谓语是「～のではなく、～ことだ」。其中「～のではなく」是否定的中顿形式。

答案解析:

- “不记住也可以的东西会马上忘记”，原文中未提及，错误。
- “忘记记忆比通过努力来提高记忆力更难”，对应文章第3句，正确。
- “通过转换心情可以完全忘记不好的事情”，与文章第6句意思相反，错误。
- “痛苦的记忆就算自己不强行去忘记，什么时候也一定会忘记”与文章第6句中的「記憶そのものは消えない」不符，错误。
- “记忆往往会不如人愿”与文章第2句相符，正确。
- 文章的重点在后面，关键句是「記憶は無理に忘れようと努力しない方がいいのではないだろうか」「大切なのは…失敗の原因を『なぜ』と追求し、『次にどうすればうまくいくか』を考えることだ」。选项c，“不应该忘记失败，应该查明原因，成为以后的借鉴”，与上述关键句相符，正确。选项a，「人間は楽しいことはずっと覚えている」文中没有提及，而且「つらいことはすぐに忘れる」也与文章内容不符，原文中是说「簡単に忘れられるわけではない」，可排除。选项b，「失敗した経験を覚えておかなければ」与文章内容不符，原文中是说「失敗の記憶は無理に忘れようと努力しない方がいい」，可排除。选项d，「時間が経つにつれて自然に忘れるができる」与文章内容不符，原文中是说「記憶そのものは消えない」，可排除。



書き言葉の特徴(1) (书面语的特征)

「書き言葉（书面语）」指的是以文字为媒介、用于文章中的语言。相对于「話し言葉（口语）」，书面语在词汇、语法等方面有很大的不同。本书Unit 1和Unit 2将主要讲解书面语的语法特征。

1. 文章句末常用「だ体」或「である体」形式

书面语中虽然也使用「です・ます体」，但更常使用「だ体」和「である体」这两种简体形式。「だ体」用于与关系密切的人之间的谈话或日记等；「である体」比「だ体」更正式，用于论文或议论文等。「～である」的活用与 I 类动词相同。

	です・ます体	だ体	である体
名 詞	学生です	学生だ	学生である
	学生でした	学生だった	学生であった
	学生ではありません	学生ではない	
	学生ではありませんでした	学生ではなかった	
ナ形容詞	有名です	有名だ	有名である
	有名でした	有名だった	有名であった
	有名ではありません	有名ではない	
	有名ではありませんでした	有名ではなかった	
イ形容詞	高いです	高い	
	高くありません	高くない	
	高かったです	高かった	
	高くなかったです	高くなかった	
動詞	読みます	読む	
	読みました	読んだ	
	読みません	読まない	
	読みませんでした	読まなかつた	
~ています	持っています	持っている	
~のです	言えるのです	言えるのだ	言えるのである
	言えるのではありませんか	言えるのではないか	
~でしょう	大変でしょう	大変だろう	大変であろう
~ましょう	帰りましょう	帰ろう	
~てください	教えてください	教えてほしい	

2. 文章的句子中多用连用中止形表示中顿

「連用中止形（连用中止形）」在句中表示停顿，相对于口语中使用「て形」，书面语中则多用连用中止形来表示。肯定形式的连用中止形为「名詞/ナ形容詞であり」「イ形容詞ーく」「動詞未^タ形」；否定形式的连用中止形为「名詞/ナ形容詞ーではなく」「イ形容詞ーくなく」「動詞未^タ形ーず（に）」。

	肯定		否定	
	て形	連用中止形	て形	連用中止形
名詞	学生で、～	学生であり、～	学生ではなくて、～	学生ではなく、～
ナ形容詞	有名で、～	有名であり、～	有名ではなくて、～	有名ではなく、～
イ形容詞	高くて、～	高く、～	高くなくて、～	高くなく、～
動詞	読んで、～	読み、～	読まなくて、～	読まず、～
			読まないで、～	読まずに、～
	○○して、～	○○し、～	○○しなくて、～	○○せず、～
			○○しないで、～	○○せずに、～
~ています	持っていて、～	持っており、～	持っていないで、～	持っておらず、～

3. 文章句子结构遵循一定的规则，不使用缩略形式

日语的「縮約形（缩略形式）」可分为三种类型，而书面语中一般不出现这些形式。

分类	缩略形式	书面语形式
与「は」相关	～ちゃ / ジや	～ては / では
与「ば」相关	～なきや	～なければ (ならない)
与「て」相关	～てる / てない	～ている / ていない
	～ちゃう / ジやう	～てしまう / しまう
	～とく	～ておく
与「と」相关	～って / っていう	～と / という
	～ってば	～といえば
	～ったら	～といったら
与「の」相关	～んだ / んです	～のだ
	～もんだ / もんです	～ものだ
	～んとこ	～のところ
与「ん」相关	分からん	分からぬ
	ならん	ならない

除了以上三种语法特征之外，日语书面语中还常使用正式的表达方式，具体用法将在Unit 2中详细介绍。



文の構造—文節の相互関係

日语的随笔、说明文、议论文等文章是由多个段落构成，每个段落由一个或多个「文（句子）」构成，而每个句子又是由一个或多个「文節（文节）」构成，每个文节中必须有一个独立的「单語（单词）」。

「文（句子）」是指表达一个完整的意思，如告诉别人一件事，提出一个问题，或表示感慨、禁止等。句子的结尾处要加一个句号。有时由于句子本身的意思和语调的关系，可以用感叹号或者问号。如果一个句子太长需要停顿一下，也可以加一个顿号，但不表示句子的结束。

「文節（文节）」是指在不影响对句子意义的理解的情况下，尽可能地把句子划分成最小的板块，这些板块就叫作“文节”。如：私は 昨日 学校へ 行った。此句由4个文节组成。

「单語（单词）」是把句子按意义进行分解后可以得到的最小的语言单位。可以由一个单词构成一个文节（如名词、副词等），也可以由两个或两个以上的单词构成一个文节（如「名詞+助詞」），但是一个文节里只能有一个可单独使用、具有一定意义的独立词。

★文の構造（句子的成分）

分析句子的结构，必须要分析句子里词与词之间的关系，确定这些词在句子里的地位，这种“地位”即通常所说的“句子的成分”。

日语中句子的成分共有6种：

成分	作用
①主語（主语）	一个句子中动作、作用、状态、性质的主体或判断的对象
②述語（谓语）	对主语加以陈述，说明主语的动作、作用、状态、性质等
③目的語（宾语）	是谓语动词的支配成分，表示动作行为的对象
④連体修飾語（定语）	用于修饰体言，说明体言的性质、状态等，或限定事物的范围、数量等
⑤連用修飾語（状语）	用于修饰用言，表示动作行为的方式、状态、时间、场所等
⑥補足語（补语）	是对谓语进行补充说明，说明动作行为的情况、结果等

例1 涼しい 風が そよそよと 吹く。

④ ① ⑤ ②

例2 気まぐれな 彼は、実家のことが 嫌いで、ひっそりと 家を 大阪へ 引っ越してきた。

④ ① ③ ② ⑤ ③ ⑥ ②

第一个例句中只有一层主谓关系，是单句。第二个例句中有两层主谓关系，是「複文（复句）」，且两个分句间的关系不平等，具有主从关系的特点。其中处于支配地位的分句叫「主節（主句）」，即「彼は家を大阪へ引越してきた」；处于从属地位的分句叫「從属節（从句）」，即「実家のことが嫌いで」。关于「複文（复句）」的详细说明可参照Unit 8中的「表現6 複文の仕組み」。

★文節の相互関係（文节间的关系）

日语句子里一般是主语在前，谓语在后，宾语在谓语的前面，也就是主宾谓的结构关系。句子中文节间的基本关系有主语和谓语的关系、修饰和被修饰的关系等。



読み物 2

読む前に

■ 読むための語彙 ■

□飛躍する（ひやく）飞跃，突飞猛进	□瞬間（しゅんかん）瞬间
□停滞する（ていたい）停滞；积食	□はるかに（程度）相差很大
□焦る（あせる）着急	□手遅れ（ておくれ）为时已晚
□どれだけ（程度）多么的	□こつこつ 勤勤恳恳，孜孜不倦

■ 読むための表現 ■

- ～には、～と～がある/在……有……和……
- キャリアを積む/积累工作经验
- 錯覚に陥る/陷入错觉
- ～こそ/正是……，……才是
- ～（よ）うとする/想要……，打算……
- ～がちだ/常常……，动不动就……

読んでみよう

人生には、「飛躍する瞬間」と「停滞する時期」があります。²「飛躍する瞬間」は短く、「停滞する時期」は、はるかに長いです。³だから、自分が停滞していると、キャリアを積んでいないような錯覚に陥ります。⁴そして、あせるのです。⁵でも、「停滞する時期」に続けていることこそ、本当のキャリアなのです。⁶「飛躍する瞬間」には、頑張ろうとしてしまいがちですが、「飛躍する瞬間」に頑張ろうとしてももう手遅れです。⁷どれだけ飛躍できるかは、「停滞する時期」に、どれだけこつこつとキャリアを積んでいるかで決まるのです。

下線部を「だ体」「である体」に書きかえなさい。

1. そして、あせるのです。 → あせる_____ あせる_____
2. もう手遅れです。 → 手遅れ_____ 手遅れ_____

文の内容に合っているものに○、違っているものに×をつけてください。

3. () 人生で「飛躍する瞬間」は短く、「停滞する時期」は長い。
4. () 停滞している間は、キャリアを積んでいない。
5. () 人生の「停滞する時期」にあせるのは当たり前のことだ。
6. () 「停滞する時期」の積み重ねが本当のキャリアを築き上げるものだ。



読み物 3

読む前に

■ 読むための語彙 ■

<input type="checkbox"/> 暴走する (ぼうそう) 失控; 暴走, 飙车	<input type="checkbox"/> レール 列车轨道; 事先的准备
<input type="checkbox"/> 導く (みちびく) 引领; 指引; 导出	<input type="checkbox"/> 眺める (ながめる) 眺望; 盯着看
<input type="checkbox"/> 激突する (げきとつ) 猛烈撞击	<input type="checkbox"/> 課題 (かだい) 课题; 必须解决的问题

■ 読むための表現 ■

- 困難な問題に直面する/碰到困难, 遇到难题
- 当座の処置を考える/思考处理眼前的问题
- ブレーキを踏む/踩刹车
- ~てみる/试着……看
- ~が必要だ/需要……
- ~そうな+名詞/眼看就要……的……
- ~が見えてくる/能够看到……, ……显现出来
- ~べき+名詞/应该……的……
- ~はずだし、~はずだ/ (因为) 理应既能……, 又能……

読んでみよう

¹ 困難な問題に直面すると、人はまず当座の処置を考える。² 電車が暴走したらまずブレーキを踏むことが大切だ。³ しかし、人生や社会の流れは、レールの上に導かれて進む道ではない。⁴ 一度、丘の上に上がって暴走している電車を眺めてみることが必要だ。⁵ 激突しそうな課題との距離が見えてくるはずだし、本来、進むべき方向が見えてくるはずだ。

文の内容に合っているものに○、違っているものに×をつけてください。

1. () 難間に直面した時、まず集中して目前の課題を解決しなければならない。
2. () 電車が暴走したらまずブレーキを踏むことが必要だ。
3. () 人生や社会の流れはレールの上に導かれて進むべきだ。
4. () 難間に直面したら、遠くから観察することが必要だ。
5. () 丘の上に上がって暴走している電車を眺めると、他人との距離が認識できる。
6. 暴走している電車とあるが、ここで筆者は何を言おうとしているか。
 - a 目前の課題
 - b 直面している難問
 - c 人生や社会の流れ
 - d 進むべき方向